島根県看護協会情報誌

あかね雲

2017. 5.8
NO.155

平成29年度 通常総会特集

◆協会長あいさつ……P1
◆平成29年度通常総会プログラム……P3
◆平成29年度名誉会員の推薦(案)……P4
◆平成29年度重点事業並びに事業計画……P5
◆平成29年度改選役員、推薦委員の選任(案)…P13
◆平成30年度日本看護協会通常総会
代議員・予備代議員の選出について(案)……P14
◆平成29年度収支予算……P15

発行／公益社団法人島根県看護協会
発行責任者／春日順子　編集／広報委員会

平成29年度
島根県看護協会通常総会の開催にあたって

公益社団法人島根県看護協会
会　長　春　日　順　子

会員の皆様には日頃より協会活動に暖かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

2011 年に島根県看護協会長に就任、同時に日本看護協会地区理事として6 年間を全力で取り組んできました。前半は公益社団法人移行に伴い基本理念を元に組織の体制整備、後半は2014 年の医療介護総合確保推進法の成立を受け2025 年を見据えた医療提供体制の構築に看護の力をどう発揮していくかを念頭に活動を進めてきました。丁度、2015 年に「看護の将来ビジョン」が日本看護協会から公表され目標をもって舵取りができました。多くの事業で理事の皆様や会員一人ひとりの事業に向かう真摯な姿勢により、狙い以上の成果をあげることができました。2025 年を迎え、今後、医療や介護の需要が急激に増大することが見込まれ、その対応が急務となります。この時を乗切るためには、看護が大変重要な役割を担うことになります。

そこで、今年度の重点事業は、医療・看護の動向を踏まえ、以下の4つの政策課題を掲げて取り組むこととしました。行政、関連団体・機関、多職種間での連携を深め、活動いたします。

“平成 29 年度重点事業”は前年度の枠組みを踏襲し、更に推し進めて参ります。

1　地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

1．在宅・施設等の長期療養者を支える看護の機能強化

高齢化の先進県である本県では2025 年の医療需要を推計し地域医療構想が示されました。地域包括ケアにおいて医療と介護、病院と在宅をつなぎ在宅療養を支える訪問看護の機能強化が求められています。人材の確保・育成ではナースセンターによる就業促進や訪問看護研修などの機会をとらえ病院看護と訪問看護、ケアマネジャー等と情報交換の機会を設けネットワーク強化に努めます。

2．包括的母子保健推進における看護機能の強化

看護の将来ビジョンには、子供を産み育てる人々、子供たち、障害のある人々など全ての人々の生活を地域で支えるものとあります。助産師出向支援事業や小児在宅研修などを通して妊娠期から退院児の在宅療養支援に向けた助産師・看護師等の育成に取り組みます。

2　看護職の労働環境の整備の推進

1．勤務環境の改善の推進

WLB推進ワークショップの取り組み実績からその手法、成果を生かし病院における看護職の働き続けられる職場づくりは進んでいます。好事例報告会など医療勤務環境改善支援センターと連携しながら、看護職の労働環境改善の推進に取り組みます。また「ＤｉNQL」事業を通し、看護管理者のマネジメン

ト力向上への取り組みを支援します。

２．看護職の就業と定着の推進（ＮＣＣＳ、届出制度）

地域包括ケアをすすめ地域医療構想を実現するには、看護職確保は重要な課題です。離職時等における届出により、2016 年度届出者は271 人。潜在化防止や潜在看護職の復職に向け、ハローワークとの連携、届出制度の広報、NCCSの効率的運用に努め離職者の就業促進に努めます。

3　看護職の役割拡大の推進と人材育成

１．特定行為研修制度の普及促進

「特定行為に係る看護師の研修制度」の施行に伴い、県内でも既に研修修了者たちが現場で活躍しています。これからの医療ニーズに応えるべく地域包括ケアの推進に貢献できるよう、本制度について情報発信し、チーム医療の中で活用推進に向けた課題検討を行います。

２．保健師のキャリア形成の推進

保健師には、地域の人々の健康増進や疾病予防のための地域診断によるPDCAサイクルの実施、地域ケアシステムの構築等を担う役割があります。保健師活動指針に基づく保健活動の推進など、行政・産業等各分野で働く保健師一人一人がキャリアパスの中で資質向上を図ります。

３．助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）認証制度の普及

2015 年、2016 年で助産実践能力習熟段階認証制度により、県内では114 人がアドバンス助産師として認証を受けました。2018 年度の申請に向けて助産師出向支援事業や新人助産師等の助産実践能力向上研修、ウィメンズヘルスケア研修を通して支援します。

４．看護師のクリニカルラダーの周知及び、活用の推進

日本看護協会は、2016 年 6 月「看護師のクリニカルラダー（ＪＮＡラダー）」日本看護協会版を公表し今年度、認証制度の設計について検討を予定している。看護実践能力強化のための制度の周知及び情報提供を行い各施設での活用・導入にあたっての課題について検討します。

4　看護基礎教育制度改革の推進

１．看護師基礎教育の4 年制化

なぜ看護師の基礎教育は4 年制化が必要なのか。圧倒的な教育時間の不足と病態の複雑化・療養の場の変化が挙げられます。少子超高齢社会という社会状況の変化から病院看護から施設看護まで看護職の担う役割は大きく変容しています。地域ニーズに応えるため、日看協と連携し活動いたします。

２．准看護師の進学支援の促進

医療の高度化・複雑化に対応し安全な医療を提供することにおいて、現状の准看護師教育では、内容・時間ともに不足しています。関係機関と連携し、本制度を取り巻く課題を整理し、また就業中の准看護師への進学支援に取り組みます。

◆総会の特別講演には、日本看護協会の菊池令子副会長をお迎えし**「看護の展望２０１７」**と題しご講演いただきます。重点事業への取り組みのヒントも頂けるものと期待しています。◆**第 48 回日本看護学会－精神看護―学術集会**を平成 29 年 9 月 29・30 日に開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。◆活動をとおして看護職が専門性を発揮し、やりがいをもって働き続けられるようしっかりと頑張ります。

平成 29 年度

公益社団法人　島根県看護協会通常総会プログラム

日　　時　　平成 29 年 6 月 3 日(土)　　9：45 ～ 12：30
場　　所　　ビッグハート出雲　白のホール　出雲市駅南町 1 丁目 5 番地

8：30	開場
9：00	受付
9：40	オリエンテーション
9：45	開　　会 物故会員への黙祷 会長あいさつ 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露 名誉会員の推薦および名誉会員証贈呈 島根県看護協会長表彰 各種表彰受章(賞)者の披露 (小休憩)
10：30	議長団選出 議事録署名人決定 平成 28 年度総会議事録朗読 **提出議題審議** 第一号議案　名誉会員の推薦(案) 第二号議案　平成 29 年度改選役員、推薦委員の選任（案） 平成 30 年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出 選挙管理委員の任命 投　　票
11：00	**平成 28 年度活動報告事項** 日本看護協会理事会報告 法人会員会報告 中国四国地区法人会員会報告 都道府県職能委員長会報告 中国・四国地区職能委員長会報告 島根県看護協会理事会報告 職能委員会報告 常任委員会・特別委員会報告 支部活動報告 事業報告 **提出議題審議** 第三号議案　平成 28 年度決算報告(案)及び監査報告 **平成 29 年度報告事項** 重点事業並びに事業計画 支部事業計画 収支予算
12：10	選挙結果報告 新役員紹介 退任役員への謝辞、退任役員あいさつ 協会歌合唱 会長あいさつ
12：30	閉　　会

第一号議案

名 誉 会 員 の 推 薦 （案）

住 田 佳 子 氏 （76 歳）

【推薦理由】

昭和 37 年 3 月に島根県立中央病院附属高等看護学院を卒業、昭和 37 年 4 月から島根県立中央病院看護師として勤務。昭和 42 年からは、同病院附属高等看護学院の教員を経て、教務主任として長年にわたり看護教育に携わった。その結果、看護教員の資質向上や患者に信頼され社会から認められる看護師の養成に尽力した。平成元年から3年間、島根県環境保健部医務課主幹として行政分野で優れた指導力、積極性、判断力が評価され、看護行政の発展に貢献した。その後、島根県立中央病院の看護局次長から看護局長として6 年間、新病院構想に参画し、日本初となる電子カルテ導入等の新病院開設に向けて尽力した。教育現場、県行政、病院の看護管理者としてリーダーシップを発揮し、看護職確保や人材育成、看護基礎教育の充実・発展に寄与した。

島根県看護協会の役員としては、昭和 58 年から協会の会計理事 6 年間、平成 4 年から3 年間は看護師職能委員長として職能の課題解決に努めた。その実績から、県職員退任後の平成 13 年から協会副会長として4 年間の責務を果たし、平成 17 年から協会長として規律を重んじ、優れた指導力を発揮して、適正な人材活用のもと県内看護職の質向上と働き続けられる環境づくりのため尽力した。

主な業績として、学術振興において日本看護学会学術集会を3 年毎に開催するレールを敷き定着化に繋げた。看護教育の質向上では、島根県立大学短期大学部の4 年制大学化に向け県に強く要望、平成 24 年度の開学に貢献した。現場で培った先見の明があり、社会のニーズを先取りし、看護職の働き続けられる環境づくりとして、看護職のWLB推進ワークショップの開催、医療安全の視点から早期に医療安全管理者養成研修事業を実施した。また、看護管理者の質向上にも力を注ぎ、セカンドレベル教育の受講ニーズの高まりから、平成 21 年度からの開講に至った。在宅療養推進の観点では、協会立訪問看護ステーションの機能充実に努め、24 時間連絡体制、居宅介護支援事業の実施など人々が住み慣れた地域で安心して療養できるよう努めた。また、看護職を取り巻く課題解決や協会事業推進のため、県行政との連携を深め積極的に県委託事業も引き受けた。平成 23 年、日本看護協会の公益法人移行にあたっては、県協会長として会員との情報共有に努め、移行後は地区理事として責務を全うした功績は大である。平成 23 年から協会運営の経験を活かして、監事に就任、協会事業の発展に向けて継続的な支援をしている。

報告事項

平成 29 年度　重点事業並びに事業計画

島根県看護協会の基本理念に基づき、看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の３つの柱で活動します。この使命を達成するために次の重点事業並びに事業計画を提案いたします。

＜ 平成 29 年度 重点事業 ＞

1　地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
　1）在宅、施設等の長期療養者を支える看護の機能強化
　2）包括的母子保健推進における看護機能の強化
2　看護職の労働環境の整備の推進
　1）勤務環境の改善の推進
　2）看護職の就業と定着の推進（ＮＣＣＳ、届出制度）
3　看護職の役割拡大の推進と人材育成
　1）特定行為研修制度の普及促進
　2）保健師のキャリア形成の推進
　3）助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）認証制度の普及
　4）看護師のクリニカルラダーの周知、活用推進
4　看護基礎教育制度改革の推進
　1）看護師基礎教育の４年制化
　2）准看護師の進学支援の促進

島根県看護協会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を日本看護協会と連携し、以下の通り行います。

◆事業計画は定款第４条の７つの事業に沿って掲載しています。

1．看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2．看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3．看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4．在宅ケア・訪問看護の実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
5．日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6．施設の貸与に関する事業
7．その他本会の目的を達成するために必要な事業

・事業内容の**太字**は重点事業、下線は新規事業
・予算額は、直接事業費のみを計上

1．看護教育及び学会等学術振興に関する事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位（千円）
1−(1) 継続教育に関する事業	**1）教育研修プログラムの企画・実施【重・全体】**	Ⅰ　新人を支援する教育（教育計画頁　参照） Ⅰ－１新人・初心者のための研修 ・新人研修 1コース Ⅰ－２新人看護職員研修事業 ・新人助産師集合研修 期　間：平成29年11月18日（土）19日（日）（2日間）	5,818

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
		・多施設合同研修 期間：平成29年4月21日(金)～平成30年1月24日(水)(7日間) ・実地指導者研修 期間：平成29年7月7日（金）～10月31日（火）（5日間） ・教育担当者研修 期間：平成29年9月9日(土)～平成30年1月12日(金)(8日間) Ⅱ　ジェネラリストを育成する教育（教育計画頁　参照） Ⅱ－１自らを高め人を育てるための研修（11 コース） 期間：平成 29 年 5 月 20 日（土）～ 11 月 5 日（日） Ⅱ－２看護職員認知症対応力向上研修 期間：平成 29 年 5 月 19 日（金）～ 5 月 21 日（日） Ⅱ－３他の医療機関との連携研修 ・インターネット配信研修（リアルタイム：災害医療と看護 ～災害看護の基本的知識～） 期間：平成 29 年 7 月 19 日（水）20 日（木） ・インターネット配信研修（オンデマンド：認知症高齢者の 看護実践に必要な知識） 期間：平成 29 年 6 月 20 日（火）21 日（水） ・衛星通信研修(重症度､医療･看護必要度評価者院内指導者研修) 期間：平成 29 年 6 月 18 日（日） Ⅱ－４緩和ケアアドバイザー養成研修 期間：平成29年8月22日(火)～平成30年3月2日(金)(分散型) (ELNEC-J コアカリキュラムの研修 4 日間含む) Ⅱ－5「訪問看護eラーニング」活用による訪問看護師養成講習会ステップ1 期間：平成 29 年 6 月～ 12 月 Ⅲ　管理者を育成する教育 Ⅲ－１認定看護管理者教育課程ファーストレベル 期間:平成 29 年 8 月 31 日(木)～ 11 月 25 日(土)(分散型 28 日) ・平成 30 年 2 月 24 日（土）フォローアップ研修・修了式 Ⅲ－２医療安全管理者養成研修 期間：平成 29 年 6 月 16 日（金）～ 8 月 8 日（火）(8 日間) ・医療安全管理者交流会　平成 29 年 12 月 3 日（日）午前 ・医療安全管理者フォローアップ研修 期間：平成29年5月12日(金)6月16日(金)11月14日(火)(3回) Ⅳ　教育者・研究者を育成する教育 ・臨床看護研究計画立案研修　平成29年8月21日(月)22日(火) Ⅴ　協会事業に関連する教育・研修 ・職能及び委員会による研修（教育計画参照）	7,397 3,283
1-(2) 看護学会・学術集会に関する事業	1）第 48 回日本看護学会-精神看護-学術集会開催、並びに抄録集、論文集発行	○第 48 回日本看護学会－精神看護－学術集会開催 メインテーマ「こころを紡ぐ、地域を紡ぐ、縁を結ぶ 精神看護のさらなる挑戦」 内　容：基調講演、シンポジウム、交流集会、教育講演 基調講演：こころを紡ぐ､地域を紡ぐ､縁を結ぶ精神看護のさらなる挑戦 講　師：黒田美喜子氏　東京都立松沢病院看護部長 教育講演：人と人とが交わる現場を活かす心の技法 ～新たなわたしへの挑戦～ 講　師：名越康文氏 相愛大学客員教授、京都精華大学客員教授　精神科医師 開催日：平成29年9月29日（金）30日（土） 会　場：島根県民会館	8,000
	2）研究論文査読研修	○研究指導者のための倫理と査読研修会 講　師：臨床で看護実践をしている看護管理者（3名）	79
1-(3) 図書室運営に関する事業	1）図書室の整備	○図書管理システムによる管理 ○図書・雑誌等の新規購入 ○蔵書点検・管理 ○島根県立図書館司書による相談指導	300

２．看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業細目	事　業	内　容	事業費 単位（千円）
2-(1) 働き続けられる労働環境づくりの推進事業	**1）勤務環境の改善の推進　【重・2-1】** **2）雇用の質向上取り組み支援** **3）看護職の働き続けられる職場環境づくり研修会の開催【重・2-1】**	○労働と看護の質向上（DiNQL 事業）支援事業 ・支援対象：（応募病院5施設）大田市立病院、済生会江津総合病院 出雲徳洲会病院、松江市立病院、島根県立中央病院 ・支援病院５施設への助成 ○ DiNQL 参加病院交流会 開催日：未定 会　場：看護研修センター ○勤務環境改善事例発表会 開催日：未定 会　場：未定 ○看護職の働きやすい職場環境づくりの推進 テーマ：「DVDによる看護補助者活用推進のための看護管理者研修」 開催日：平成 29 年９月６日（水） 会　場：看護研修センター 講　義：平成 28 年度日本看護協会製作「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」【講義用教材ＤＶＤ１①②】	1,548
2-(2) 看護職員確保対策の推進事業（ナースセンター事業）	**1）ナースバンク事業【重・２－２】**	○求人施設訪問相談 ○離職者実態調査 ○就業相談員研修会 ○メンタルヘルスサポート研修会 開催日：平成 29 年９月７日（木）（西部） 会　場：いわみーる 開催日：平成 29 年９月 20 日 (水）（東部） 会　場：看護研修センター 内　容：講演、体験学習 テーマ：職場のメンタルヘルスに関する基本的考え方と セルフケアについて学ぶ 講　師：足立智昭氏　島根大学教育学部准教授 ○無料職業紹介事業 ・「届出制度」の周知・広報・登録の提出促進 ・就業相談・職業相談 ・第５次NCCS求人・求職者の登録 ○移動ナースバンク事業 ハローワーク（松江、雲南、石見大田、浜田、益田、隠岐の島） 島根県立中央病院、済生会江津総合病院、パルメイト出雲 ○看護職再就業チャレンジ講習会 ○圏域別看護関係者連絡会の開催（島根県と共催） 松江・雲南・大田・益田・浜田・出雲（6 圏域） ○情報提供事業 ・ナースセンターだよりの発行（年４回） ・ホームページでの情報提供 ・島根県立図書館とのタイアップ事業（島根県との共催） 展示期間：平成 29 年５月９日（火）～５月 31 日（水） 展示場所：島根県立図書館１階 展示内容：看護師等の届出制度のＰＲ 無料職業紹介のＰＲ・再就業者体験談等の紹介 ・看護の動向、看護情報、求人情報の提供 ・対外的な広報活動の充実	6,034
	2）看護のこころ普及事業	○看護のこころ普及事業 ・高校生のための進学ガイダンス（島根県と共催） ・一日看護学生・看護体験（島根県と共催） ・看護の出前授業（高校生・中学生対象） （日本看護協会及び日本教育新聞と共催）	78

事業細目	事　業	内　容	事業費 単位(千円)
	3) 訪問看護支援事業開催【重・1-1】	○「訪問看護ｅラーニング」活用による訪問看護師養成講習会 ステップ１（再掲） 期間：平成 29 年 6 月～ 12 月（分散型 8 日間）	645
	4）行政・関係機関との連携	○島根県及び関係機関との連携 ○ＵＩターン事業への参加 ○高齢者施設との情報交換会 ○将来の働き方を考え、福祉分野について理解を深める研修 「福祉分野チャレンジ交流会」～高齢者施設や看護職の仕事について紹介、意見交換しましょう～（老施協との共催） 開催日：未定 会　場：未定 ○島根の看護職就職キャンペーン	91

３．看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
3-(1) 看護業務の改善事業	**1) 看護職の役割拡大の推進と人材育成【重・３】**	○日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進 ○認定看護管理者交流研修（日程未定） ○専門看護師・認定看護師活動報告会（日程等未定） ○特定行為に係る研修（日程未定）	394
3-(2) 保健師職能活動の推進	**2) 保健師の専門性の強化に向けた活動　【重・３-２】**	○日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進 ○保健師職能研修会（2 回：8 月、11 月） 第１回：テーマ 保健師活動に活用できる社会資源を知ろう 第２回：テーマ 保健師のキャリアラダー策定にむけて ○「産業保健活動推進のリーダーとしての保健師に必要な能力の強化」研修プログラム参加 ○「地域包括ケアシステム構築・推進のための保健師に必要な能力強化」研修プログラム参加 ○各保健師団体組織との連携強化 ○保健師職能たより、7 月発行 あかね雲・ホームページで保健師職能活動の紹介	478
3-(3) 助産師職能活動の推進	**1) 助産師の専門性の強化に向けた活動　【重・３-３】**	○日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進 ○助産師キャリアアップ研修 開催日：平成 29 年 7 月 29 日（土） 講　師：松原まなみ氏　聖マリア学院大学教授 ○新生児蘇生法研修（ＮＣＰＲ） 開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土） 講　師：遠藤智弘氏　島根県立中央病院新生児集中ケア認定看護師 ○助産師職能研修会 目　的：助産師の実践能力を高める 開催日：平成 29 年 10 月 1 日（日） 講　師：福井トシ子氏　日本看護協会常任理事 ○中国・四国ブロック研修会への参加 日程：平成 29 年 9 月 3 日（日）　鳥取県	946
	2) 助産師出向支援【重・３-３】	○助産師出向支援協議会の開催 ○ニーズ調査及び出向支援	2,000
	3）両親学級の実施	○妊婦とそのパートナー（夫）への出産準備教育 開催：松江 11 回、雲南 4 回、出雲 10 回、江津 3 回	266
3-(4) 看護師職能活動の推進	**6) 看護師の専門性の強化に向けた活動【重・１・２・３・４】**	○日本看護協会との連携による課題の検討と活動の推進 ○看護師職能研修Ⅰ テーマ：多職種連携を推し進めるための、病院看護師が発揮する力 講　師：川本利恵子氏　日本看護協会常任理事 開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土） 会　場：看護研修センター	690

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
		○看護師職能研修Ⅱ テーマ：在宅や介護施設等で働く看護職の管理者のマネジメント能力の向上 開催日：平成 29 年 10 月 29 日（日） 会　場：パルメイト出雲 講　師：未定 ○介護施設等における看取り研修プログラムの実施（2 回開催） 目　的：介護領域で働く看護師の機能強化と介護施設等での看取りケアの質向上につながる。 【西部】日　時：平成 29 年 9 月 10 日（日） 会　場：益田地域医療センター医師会病院 【東部】日　時：平成 29 年 11 月 12 日（日） 会　場：看護研修センター ○重症度、医療･看護必要度評価者院内指導者研修(衛星通信対応) 開催日：平成29年6月18日（日） 会　場：看護研修センター	
3-(5) 3職能合同による活動	1) 3 職能合同による活動	○保健師・助産師・看護師合同研修会 詳細未定	296
3(6) 看護業務及び制度に関する政策提言事業	1) 看護関連政策への提言 2) 看護職の看護政策等への関心の喚起 **3) 准看護師制度問題についての活動【重４- ２】** **4) 准看護師２年課程（通信制）への進学支援【重４- １】** 5) 日本看護協会奨学金貸与の紹介 6) 進学支援のための相談	○関係行政・関係機関等への提言・要望 ○県議会看護問題議員連盟等への要望書提出 ○看護職員確保施策等に関する意見交換会（島根県･看護協会･看護連盟） ○看護の政策課題の実現に向けての研修会開催 ・看護協会・看護連盟合同管理者・教育者セミナー 開催日、講師未定 ・看護協会・看護連盟合同研修会 開催日、講師未定 ○日本看護協会との連携による活動の推進 ・看護基礎教育 4 年制化の推進 ○准看護師問題に関する情報収集及び情報提供 ・会員、非会員：ホームページ、広報誌あかね雲等で情報提供 ○看護師 2 年課程（通信制）進学に向けた支援 ○准看護師進学支援研修 講　義：看護の動向 講　師：島根県看護協会長 講　義：最新の看護ケア「摂食嚥下について」 講　師：未定 開催日：平成 29 年 8 月 19 日（土） 会　場：島根大学医学部附属病院 ○ホームページおよび広報誌あかね雲等による周知 ○准看護師研修、看護管理者研修時説明 ○准看護師等の相談対応（ナースセンター）	390 76

４．在宅ケア・訪問看護の実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
4-(1) 在宅ケア・訪問看護の促進事業	**1) 協会立訪問看護ステーション機能の充実【重・1－1】** **2) 安心・安全な在宅医療のための研修会【重・１】**	○看護学生等の訪問看護実習への協力 ○関係団体との連携 ○出雲圏域看看連携研修 ○医療連携の推進（退院調整部門との連携の強化・充実） ○在宅療養を支える訪問看護の普及・推進研修会 （訪問看護ステーション協会、介護支援専門員協会、看護協会合同） テーマ：「多職種連携・地域連携のあり方」について 講　師：鎌田實氏　諏訪中央病院名誉院長 開催日：平成 29 年 11 月 11 日（土） 会　場：くにびき大ホール	364 327

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位（千円）
4 -(2)　地域の健康づくり推進事業	1）まちの保健室活動の強化・充実	○「まちの保健室」事業の実施 常設：4 支部　松江、雲南、出雲、浜田 イベント型：7 支部 ○地域における関連団体等イベントへの協力 ○まちの保健室情報交流会	790
4-(3)出産･子育て支援事業	1）両親学級の実施	○夫婦への出産準備教育（再掲） 開　催：松江 11 回・雲南 4 回・出雲 10 回・江津 3 回	266
4-(4)　訪問看護師養成事業	1）訪問看護師の養成 2）訪問看護研修の開催	○「訪問看護eラーニング」活用による訪問看護師養成講習会ステップ1（再掲） 期　間：平成 29 年 6 月～ 12 月 ○訪問看護研修（訪問看護研修5日、精神科訪問看護研修3日）（再掲） 期　間：平成 29 年 5 月～平成 29 年 12 月	645 2,400
4-(5)　災害時の看護支援活動に関する事業	1）災害支援ナース登録推進

５．日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
5-(1) 看護のこころ普及事業	1）看護の日のつどい	○「看護の日」記念のつどい 開催日：平成 29 年 5 月 13 日（土） 会　場：くにびきメッセ ・高校生のこころに残る看護エピソード表彰式：エピソード応募数 41 ・看護のこころリレートーク 看護のしごと－いのち・つなぐ・支える－ 講　演：「わくわく　どきどき　心地よく～出逢いに感謝～」 講　師：岩崎巌氏　出雲市	554
5-(2) 高校生等への看護職の理解	1）高校生のための進学ガイダンス・看護出前授業 **2）１日看護学生・看護体験**	目　的：看護への理解を深め、看護職になるための情報提供、看護師養成機関への入学促進を図る。 開催時期：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 目　的：看護への理解を深めるため中学生・高校生を対象に看護学校や病院での看護体験	78
5-(3) 看護に関する啓発事業	1）諸会議等への出席	○諸会議への出席 ・日本看護協会通常総会･全国職能別集会平成29年6月7･8日 会　場：幕張メッセ ・法人会委員会　年 4 回 ・理事会　年 6 回 ・中四国地区別法人会員会　年 1 回 ・全国職能委員長会　年 2 回 ・中四国地区職能委員長会　年 1 回 ・日本看護学会運営会議 ・拡大医療安全会議 ・全国准看護師制度担当者会議 ・災害支援ナース指導者養成研修 ・ナースセンター事業担当者会議	
	2）日本看護学会学術集会の開催	○日本看護学会学術集会準備委員会 内　容：日本看護学会－精神看護－学術集会 開催日：平成 29 年 9 月 29 日（金)30 日（土） 会　場：島根県民会館	8,000
	3）教育研修等への参加・協力	○学会、教育研修、セミナー等への参加・協力	

６．施設の貸与に関する事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位(千円)
6-(1) 施設の貸与	1）公益事業への施設の貸与	○学会・セミナーへの貸与	
	2）収益事業における貸与	○空きスペースの貸与	

７．その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業細目	事　　業	内　　容	事業費 単位（千円）
7-(1) 組織強化	1）会員数の増加・拡大 2）支部事業との連携及び支援	○入会率 50%（会員数／就業者数）をめざす ○新会員情報管理体制の円滑な運用のための情報提供 ○入会の普及・拡大 　新規採用看護職への入会案内配布 ○支部長会・支部役員会・研修会等で新規加入促進 ○支部長会の定期開催 ○支部事業活動費の交付	4,106
7-(2) 会員サービスの充実	1）会員への情報提供	○教育関連情報の提供 ・別冊「平成 29 年度教育計画」の配布 ○広報誌「あかね雲」の配布（年５回） ○取材活動、情報提供 ○マスコミの活用 ○看護職賠償責任保険制度の周知 ○ホームページ更新	3,172
7-(3) 円滑な組織運営	1）諸会議の開催	○公益社団法人島根県看護協会通常総会 　平成 29 年６月３日（土）ビッグハート出雲 ○理事会　開催　年６回以上 ○常務理事会　年６回以上 ○職能委員会 ・保健師職能委員会　年５回以上 ・助産師職能委員会　年５回以上 ・看護師職能委員会　（Ⅰ・Ⅱ）年５回以上 ○常任委員会 ・教育事業委員会　年８回以上 ・社会経済福祉委員会　年５回以上 ・広報委員会　年５回以上 ・学会委員会　年５回以上 ・在宅ケア・訪問看護推進委員会　年５回以上 ・推薦委員会　年５回以上 ・災害看護委員会　年５回以上 ・医療安全推進委員会　年５回以上 ・認定看護管理者教育運営委員会　年５回以上 ○特別委員会 ・緩和ケア推進委員会　年５回以上 ・男性看護師委員会　年２回以上 ○合同委員会　開催１回 ○「看護の日」実行委員会　１回 ○会員登録システム（ＪＮＡＳ）の運用・管理 ○表彰・各受賞候補者の推薦 ・日本看護協会長表彰 ・島根県看護協会長表彰 ・島根県看護協会名誉会員 ○災害・慶弔見舞 ○人権問題職場研修会	2,000 1,000 1,216 2,286 160
7-(4) 広報・渉外活動	1）広報活動 2）看護連盟との連携 3）社会福祉協議会との連携	○ホームページを活用した情報発信 ○新聞広告　共催　後援 ○日本看護連盟通常総会　平成 29 年６月 15 日（木） ○島根県看護連盟通常総会　平成 29 年６月 24 日（土） ○職場研修サポート事業への協力	

第二号議案

平成 29 年度
公益社団法人島根県看護協会改選役員・推薦委員の選任(案)

（1）役　　員

島根県看護協会定款第２８条１項に基づく役員の任期満了に伴い、島根県看護協会定款施行細則第１３条第１項の規定に基づき次の役員の選任を求める。

役員名	氏名	職種	施設名
理事（会長）	秦　美恵子	看護師	公益社団法人島根県看護協会
理事（副会長）	小森　恵子	看護師	個人会員
理事（常任理事）	石井　朋子	助産師	公益社団法人島根県看護協会
職能理事（保健師）	天野　和子	保健師	出雲保健所
支部理事（松江）	佐々木　亜弥	看護師	国立病院機構松江医療センター
支部理事（出雲）	郷原　佳子	助産師	出雲市立総合医療センター
支部理事（益田）	山本　ひとみ	保健師	益田市役所
支部理事（隠岐）	野津　美和	看護師	隠岐病院
監事	三代　美知子	看護師	個人会員

（2）推薦委員

島根県看護協会定款施行細則第１０条３項に基づく推薦委員の任期満了に伴い、島根県看護協会定款施行細則第１０条第１項の規定に基づき次の推薦委員の選任を求める。

役員名	氏名	職種	施設名
推薦委員	橋本　久美	保健師	出雲保健所
推薦委員	竹原　千春	保健師	大田市役所
推薦委員	森脇　妃登美	助産師	島根県立中央病院
推薦委員	木村　留美子	看護師	大田市立病院
推薦委員	武田　輝子	看護師	島根県立中央病院
推薦委員	森長　久美子	看護師	町立奥出雲病院
推薦委員	扇元　美由紀	准看護師	松江生協病院

平成 30 年度
公益社団法人日本看護協会通常総会の代議員･予備代議員の選出について（案）

公益社団法人日本看護協会は、平成 23 年 4 月から公益社団法人に移行しました。

日本看護協会の代議員・予備代議員の選出は、島根県に委託されておりその方法は選挙によります。

平成 23 年度から日本看護協会の通常総会の代議員数は 750 人で、島根県看護協会の代議員は通常総会の前々年度（平成 28 年 12 月末日）の会費納入者を基礎に算出されます。

島根県看護協会は 5,627 人で代議員数は 6 名です。選出基準は保健師 1 名、助産師 1 名、看護師 2 名、准看護師 1 名とし、5 名を超えるものは職種を問わないとなっています。平成 22 年 2 月理事会において職種を問わない 1 名を看護師とする旨が承認されましたので下記のとおり選出しています。

（1）平成 30 年度日本看護協会代議員候補者

職　種	氏　名	施　設　名
保　健　師	天　野　和　子	出雲保健所
助　産　師	菱　本　敏　美	松江市立病院
看　護　師	園　山　珠　美	島根大学医学部附属病院
看　護　師	吉　岡　佐知子	松江市立病院
看　護　師	野　津　美　和	隠岐病院
准看護師	岩　田　明　子	松江生協病院

予備代議員についても選出基準に基づき代議員と同数選出します。

（2）平成 30 年度日本看護協会予備代議員候補者

職　種	氏　名	施　設　名
保　健　師	山　本　ひとみ	益田市役所
助　産　師	郷　原　佳　子	出雲市立総合医療センター
看　護　師	佐々木　亜　弥	国立病院機構松江医療センター
看　護　師	木　村　留美子	大田市立病院
看　護　師	小　森　恵　子	個人会員
准看護師	石　原　智　恵	日立記念病院

報告事項

平成 29 年度資金収支予算の概要

本会は、平成 24 年度からの公益社団法人への移行に先立ち、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準（20 年会計基準）を平成 23 年度から適用しています。公益社団法人は法律上、損益ベースの収支予算書の作成が必要であり、従来から使用してきた「資金収支予算書」の作成は、法律上は任意です。公益法人の健全な維持・存続を確保するための予算管理の手段としては資金収支予算書が引き続き有効であることから、本会では、資金収支予算書の作成も会計処理規則で定めています。そのため、本会の予算書は、法令で必要となる損益ベースの収支予算書と従来からの資金収支予算書の２形式で構成されていますが、よりわかりやすい資金収支予算書を掲載しています。

平成 29 年度予算は、重点事業の実施費用などに必要な予算を確保しながら、公益社団法人の要件として本会に求められる次のような財務の三基準をクリアできる構成となっています。

① 公益目的事業に係る収入がその実施に要する費用を超えないと見込まれること（収支相償）。

② 公益目的事業比率が事業費全体の50％以上となると見込まれること（50％ルール）。

③ 遊休財産額（使途の定まらない蓄積した財産額）が公益目的事業に係る費用を超えないと見込まれること。

平成 29 年度 資 金 収 支 予 算 書

（単位：千円）

科目 ＼ 予算額等	当年度予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
事業活動収支の部	15,698	15,874	△ 176	
事業活動収入	397,658	395,419	2,239	
特定資産運用収入	10	10	0	
特定資産利息収入	10	10	0	退職積立預金利息
会費等収入	79,137	77,655	1,482	
会費収入	74,737	73,255	1,482	会員 5,749名(@11,000円+@2,000円)×5,749名　対前年114名増
入会金収入	4,400	4,400	0	入会者 440 名
事業収入	302,084	304,991	△ 2,907	
事業収入	15,599	22,124	△ 6,525	受講料収入
委託金収入	42,397	37,333	5,064	島根県、日本看護協会委託事業収入
衛星通信協力金収入	100	220	△ 120	衛星研修、インターネット研修協力金
介護保険利用料収入	141,976	147,880	△ 5,904	訪問看護ステーション事業収入
健康保険利用料収入	93,709	88,666	5,043	訪問看護ステーション事業収入
居宅介護利用料収入	4,073	4,490	△ 417	訪問看護ステーション事業収入
その他の利用料	4,230	4,278	△ 48	訪問看護ステーション事業収入
補助金等収入	11,795	10,100	1,695	
補助金収入	3,695	2,000	1,695	医療介護総合確保促進事業費補助金、学会コンベンション補助金
助成金収入	8,100	8,100	0	日本看護協会助成金(教育事業、看護の普及啓発事業)
寄付金収入	500	500	0	法人からの寄付金
雑収入	4,132	2,163	1,969	
受取利息収入	162	163	△ 1	預金利息、Ｔ＆Ｄホールディング株式配当
雑収入	3,970	2,000	1,970	大同生命手数料、貸室収入、自動販売機手数料、電柱敷地料他
他会計繰入金収入	0	0	0	

科目 ＼ 予算額等	当年度予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
事業活動支出	381,960	379,545	2,415	
事業費支出	369,245	367,330	1,915	
役員報酬支出	9,940	9,940	0	会長、業務執行理事報酬
職員給料支出	107,085	110,529	△ 3,444	職員給料
臨時雇用賃金支出	29,335	26,238	3,097	訪問看護ステーション非常勤職員賃金、研修会等臨時雇用職員賃金
職員手当支出	58,383	59,177	△ 794	通勤手当、賞与、時間外勤務手当他
退職給付支出	3,000	3,240	△ 240	中小企業退職金共済事業掛金
福利厚生費支出	30,397	29,312	1,085	社会保険料、健康診断料他
旅費交通費支出	21,068	19,576	1,492	研修講師等、委員会活動、各種事業協力員、職員旅費
通信運搬費支出	7,779	7,903	△ 124	郵便切手、レターパック、電話料、宅配業者利用料他
消耗什器備品費支出	780	730	50	訪問看護ステーション医療用具、訪問看護車両タイヤ他
消耗品費支出	11,951	10,615	1,336	コピー用紙、ファイル等事務用品他
修繕費支出	3,410	3,130	280	施設設備保全修繕費、訪問看護車両修繕費他
広告宣伝費支出	654	683	△ 29	新聞広告、訪問看護ステーション広告料他
印刷製本費支出	6,497	6,594	△ 97	教育計画、各種研修報告書、封筒他
燃料費支出	2,900	3,110	△ 210	訪問看護車両燃料代
光熱水料費支出	5,907	6,059	△ 152	電気、ガス、水道、灯油代他
使用料及び賃借料支出	27,649	29,508	△ 1,859	パソコン、電話機等リース物件リース料、他施設会場使用料他
図書新聞費支出	1,196	1,206	△ 10	書籍、新聞、追録代他
保険料支出	3,200	3,129	71	建物火災保険、訪問看護車両任意保険他
諸謝金支出	15,344	18,431	△ 3,087	研修講師謝金
渉外費支出	595	520	75	訪問看護利用者の見舞金・供花料他
食糧費支出	1,844	1,798	46	研修講師、協力員等昼食代、委員会昼食代、研修講師茶菓代他
租税公課支出	4,797	4,792	5	消費税、訪問看護車両自動車税、収益事業に係る法人税他
負担金支出	1,657	1,637	20	研修参加費、協会、各訪問看護ステーション加入団体年会費他
助成金支出	0	0	0	
寄付金支出	60	60	0	大災害時等の寄付金
委託費支出	12,146	7,979	4,167	機械警備、清掃業務、消防設備点検、学会運営等業務委託料他
衛生材料費支出	806	670	136	訪問看護ステーション衛生材料費
雑費支出	865	764	101	口座振込手数料、訪問看護事業その他経費他
管理費支出	12,715	12,215	500	
役員報酬支出	2,226	1,960	266	会長、業務執行理事、非常勤理事、監事報酬
職員給料支出	3,610	3,666	△ 56	職員給料
職員手当支出	1,445	1,455	△ 10	通勤手当、賞与、時間外勤務手当他
福利厚生費支出	1,500	1,500	0	社会保険料、健康診断料他
総会費支出	2,000	2,000	0	定期総会開催経費
理事会費支出	1,000	1,000	0	理事会、常任理事会、監査会経費他
旅費交通費支出	800	500	300	日本看護協会通常総会予備代議員参加旅費他
通信運搬費支出	0	0	0	
消耗品費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	0	0	0	
光熱水料費支出	0	0	0	
渉外費支出	10	10	0	手土産代

科目 ＼ 予算額等	当年度予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
食糧費支出	10	10	0	茶菓代
租税公課支出	104	104	0	松江市固定資産都市計画税
雑費支出	10	10	0	口座振込手数料
他会計繰入金支出	0	0	0	
投資活動収支の部	△ 15,478	△ 19,446	3,968	
投資活動収入	1,200	1,200	0	
積立金等取崩収入	0	0	0	
研修センター運営基金取崩収入	0	0	0	
退職積立金取崩収入	0	0	0	
固定資産売却収入	1,200	1,200	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻り収入	1,200	1,200	0	訪問看護ステーションやすらぎ建設協力金償還金
リサイクル料預け金戻り収入	0	0	0	
投資活動支出	16,678	20,646	△ 3,968	
積立金等積立支出	11,498	11,270	228	
研修センター運営基金取得支出	11,498	11,270	228	会員 5,749 名　@ 2,000 円× 5,749 名
退職積立金取得支出	0	0	0	
施設整備積立預金取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	5,180	9,376	△ 4,196	
建物附属設備取得支出	0	3,136	△ 3,136	
車両運搬具取得支出	5,100	6,200	△ 1,100	訪問看護車両 4 台購入
什器備品取得支出	0	0	0	
訪問看護積立預金取得支出	0	0	0	
リサイクル料預け金支出	80	40	40	訪問看護車両
財務活動収支の部	△ 994	△ 994	0	
財務活動収入	0	0	0	
リース債務収入	0	0	0	
財務活動支出	994	994	0	
リース債務支出	994	994	0	フルカラー高速プリンターリース料
当期収支差額	△ 774	△ 4,566	3,792	
前期繰越収支差額	0	0	0	
当期繰越収支差額	△ 774	△ 4,566	3,792	

平成 29 年度 島根県看護協会通常総会
特　別　講　演

日　時：平成29年6月3日13：30～15：00　　会　場：ビッグハート出雲　白のホール

テーマ：「医療・看護の動向２０１７」

講　師：菊　池　令　子　氏　日本看護協会　副会長

＜出 身 地＞　鹿児島県
＜学　　歴＞　1977年3月
東京大学大学院医学系研究科保健社会学修士
＜職　　歴＞　1998年6月　日本看護協会 常任理事
2006年6月　日本看護協会 専務理事
2012年6月6日　日本看護協会 副会長
＜国の検討委員、その他＞
2006年～「看護基礎教育の充実に関する検討会」委員
2009年～「第７次看護職員需給見通しに関する検討会」委員
2013年～「厚生労働省社会保障審議会医療部会」委員
「厚生労働省社会保障審議会医療保険部会」委員
2015年～「厚生労働省中央社会保険医療協議会」委員

トピックス

助産師出向導入支援事業の取組みについて
日本看護協会機関誌「看護」5月号に紹介されました。

日本看護協会ホームページより引用

福井トシ子　日本看護協会常任理事
【助産師出向導入支援事業の推進のコツ】
厚生労働省から委託を受け、平成25・26年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業「助産師出向支援モデル事業」を行いました。このモデル事業には、15都県に参加していただき、さまざまな成果が得られ、2年間のモデル事業期間を経て、平成27年度厚生労働省医療提供体制推進事業費補助金看護職員確保対策の総合的推進「助産師出向支援導入事業」としてメニュー化されました。平成28年度は、21都道県がこの事業に取り組んでいます。モデル事業から参加していただいた島根県は中四国の中心的な役割を担い、県内での助産師出向を推進しているばかりか、他県へのアドバイザーにもなり成果を上げています。その秘訣は、3つの領域のコーディネーターの存在でした。県協会が担う事業、行政、そして助産業務のコーディネーターです。
この事業がさらに推進されることを願って、本年度は助産師出向合同会議を開催します。都道府県の多くから参加されますことを期待しております。

島根県看護協会は、平成29年度も各分娩取扱い施設に出向の意向調査を行い、現在マッチング作業中です。県内の助産師出向が円滑に行われるよう支援しますので、ご協力よろしくお願いします。

トピックス

看護協会員の米田祝子さん松江市議会議員に当選!!
おめでとうございます。

私　の　抱　負

保健師　米田　祝子

私はこの度、看護職の仲間や市民の皆様のご支援を得て、議員として活動することとなりました。そこで、長年の看護職の経験を生かして少子高齢・人口減少社会の中で、住み慣れた地域にできるだけ住み続けられるよう、地域で支えあうことができる環境づくりが最も重要と考えています。

そのためには、子育て環境日本一を目指す松江市としても更なる保育所の充実や子育て相談ができる体制づくりなど更なる子育て環境の整備を促し、安心して産み育てられる環境づくりを進めたいと考えています。

また、地域に住み続けるためには、地域包括ケアシステムの構築つまり集落単位で集う場や支えあう環境づくりを進めます。

誰もが願う健康づくりや安心・安全な医療・介護・福祉施策を推進し、みんなが生きがいを感じられ、安心・安全な松江市を目指します。近年、未曾有の災害が発生しています。そのためにも平常時より災害に関するボランティアや避難行動がとれる災害教育の普及啓発に努めるよう促していきます。

何といってもこれらを支えるのは「人」、つまり我々一人一人がいつでも学べる環境と支援制度が重要です。子どもから高齢者までが求める時に求める教育がより一層受けられる教育の充実に取り組んでいきたいと考えています。つきましては、女性の視点で、新しい風を松江市に起こし、看護の力を地域に向け、新しい松江市づくりの一端を担わせていただければ幸いに存じます。

お知らせ　INFORMATION

平成29年度日本看護サミット2017
日　　時：6月6日（火）
会　　場：幕張メッセ

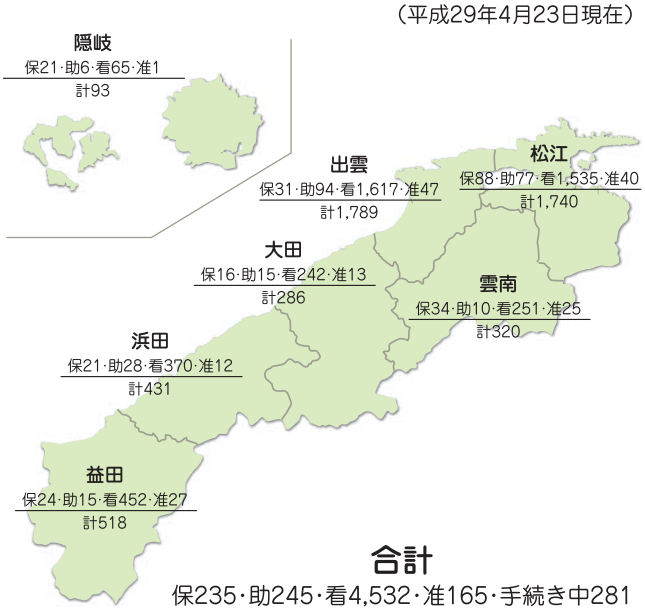
平成29年度日本看護協会通常総会
日　　時：6月7日（水）
会　　場：幕張メッセ

平成29年度全国職能別交流会
日　　時：6月8日（木）
会　　場：幕張メッセ・東京ベイ幕張ホール

平成29年度6月開催予定の研修
- 6月1日～
  訪問看護師養成講習会開講
- 6月16日～
  医療安全管理者養成研修
  今年度より隔年開催 30年度は開催しません
- 6月16日
  重症度、医療・看護必要度評価者
  院内指導者研修(申込はS-QUE研究会へ)
- 6月20・21日
  インターネット配信
  認知症高齢者の看護実践に必要な知識
- 6月25日
  感染管理の基礎

支部別・職能別会員数（合計）

（平成29年4月23日現在）



合計
保235・助245・看4,532・准165・手続き中281
計5,458 ※支部別・職能別人数には手続き中の人数は含みません。

編集後記

若葉が目にまぶしい季節になりました。新年度がスタートし、新人看護職の方、職場移動された方、それぞれの新生活に少し慣れてきたころでしょうか。心身共に晴れやかにお過ごし下さい。

公益社団法人島根県看護協会
〒690-0049　松江市袖師町7-11
TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
http://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp